

近畿地方建設局 道路部交通対策課
資 料 配 付

配 布 日 時	平成12年3月1日 14時00分
------------	---------------------

件 名	「道の駅グランプリ」の表彰について 平成12年3月2日に開催される「道の駅グランプリ2000」 において、福井県にある「道の駅・名田庄 ^{なたしょう} 」が「アメニティ部 門／総合デザイン賞」を受賞するものである。
-----	---

取り扱い	平成12年3月2日15時解禁
------	----------------

配 布 先	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 福井県県政記者クラブ(同時配布)
-------	---

問い合わせ先
○近畿地方建設局 道路部交通対策課
課 長 浅田 與志男
課長補佐 田中 貢
電話：06-6942-1141(代)
○福井県土木部道路保全課
道路安全施設整備グループ
主 任 川端 武志
電話：0776-21-1111(代)

「道の駅グランプリ2000」の表彰について

「道の駅グランプリ2000」で、福井県の「道の駅・名田庄^{なたしょう}」が「アメニティ部門／総合デザイン賞」を受賞します。

発表・表彰式は、平成12年3月2日（木）13：00から、東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内）にて行われます。

【道の駅「名田庄^{なたしょう}」】

路線名：一般国道162号

所在地：福井県遠敷郡名田庄^{おにゅう なたしょう}村納田終109-4-1

施設内容：駐車場、トイレ、情報提供装置、物産館

供用年月：平成10年4月（第14回[H10.4.17]登録）

（参考）全国では、審査委員による審査の結果、最優秀賞、優秀賞（2駅）、特別賞と部門賞としてモビリティ部門／走行支援賞、アメニティ部門／総合デザイン賞、アクティビティ部門／地域活性化賞、コミュニティ部門／心ふれあい賞が発表されます。

【別添資料】

資料－1：道の駅「名田庄」

資料－2：位置図・平面図

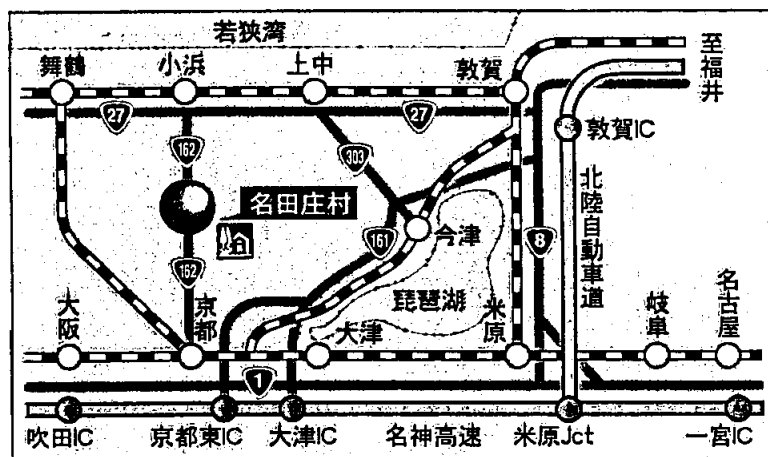
資料－3：「道の駅グランプリ2000」受賞駅決定 ベスト3「とみうら」、「おがち」、「明宝」 3月2日表彰式とシンポジウム開催（全国「道の駅」連絡会記者発表資料）



道の駅「名田庄」

環境と調和した道づくり

◎交通のご案内



・概要

北斗七星のカタチをした、風と緑と星のふるさと「名田庄村」に、周辺の環境・景観にマッチした「道の駅」が京都・若狭を結ぶ国道162号沿いに整備されました。道路利用者の休憩施設として、また、歴史・文化・物産等の情報提供を行い、整備された隣接施設と一体となり活力ある地域づくりの一役を担っている。



◎「道の駅」施設・サービスの内容

1. 施設

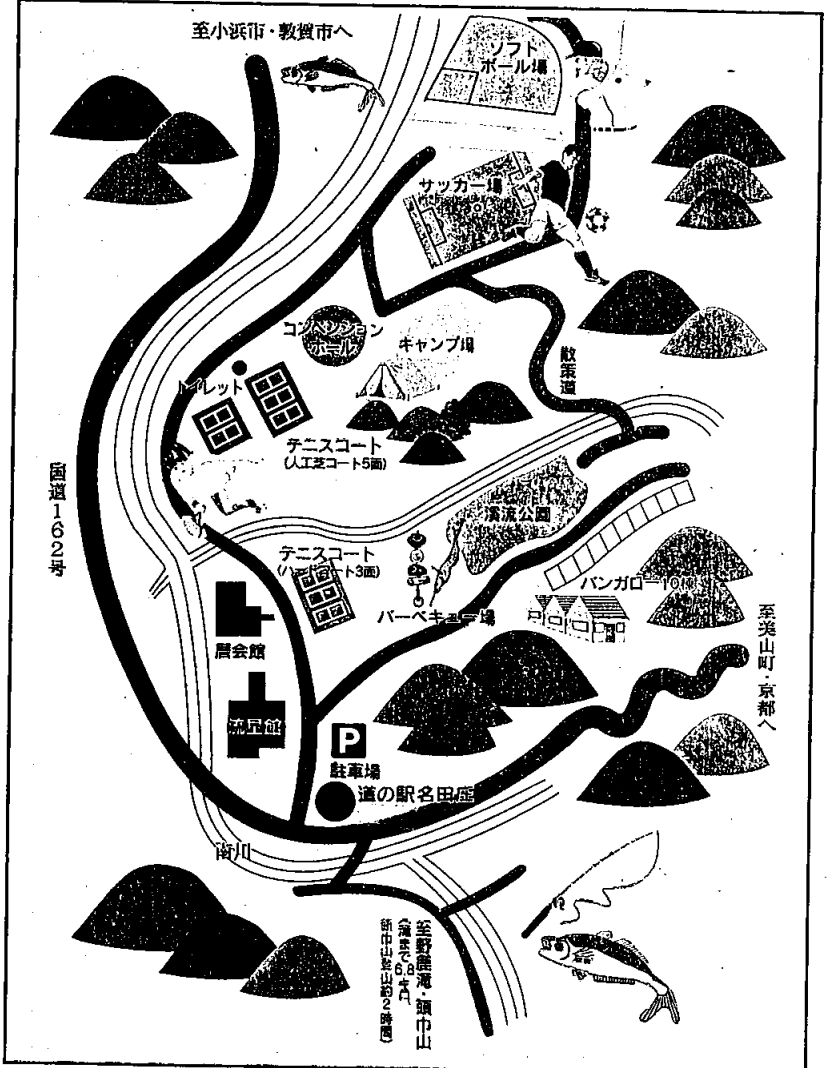
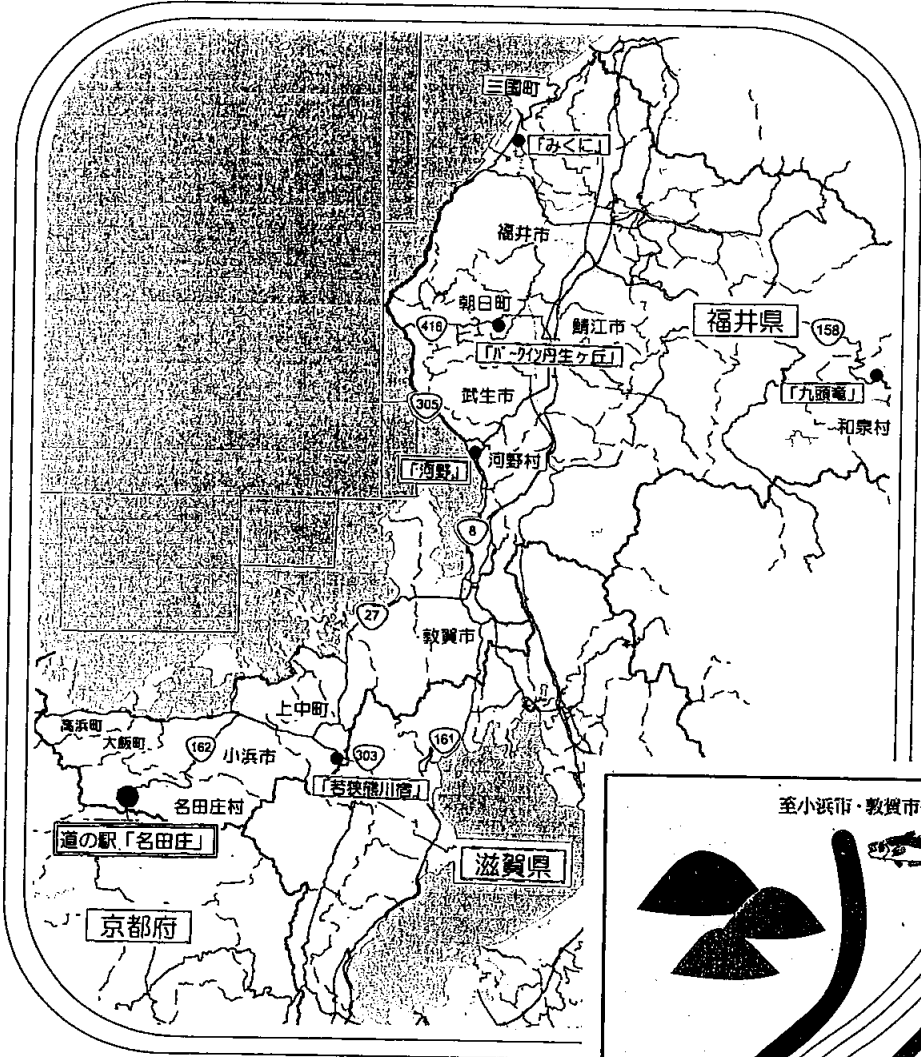
全体面積	2,818㎡
福井県施工	休憩所 木造平屋建 1棟 146㎡ 公衆トイレ 木造平屋建 1棟 106㎡ (男7器 女6器 身障者2器 計15器) 駐車場 面積 1,200㎡ (地道風舗装) (大型車3台 小型車19台 計22台 内身障者用2台) 緑地その他 面積 1,277㎡
名田庄村施工	物産館 木造平屋建 1棟 89㎡

2. サービスの内容

駐車場・公衆トイレ・電話等の施設は24時間利用可能
道路情報・観光・イベントの案内、特産品の展示販売を行う。



位置図・平面図



記者発表資料
3月2日15時解禁

**「道の駅グランプリ2000」受賞駅決定
ベスト3「とみうら」、「おがち」、「明宝」
3月2日表彰式とシンポジウム開催**

平成12年2月24日
全国「道の駅」連絡会

目 的

「道の駅」は、誕生から7年目を迎え、現在551駅が登録されている。電車には「駅」、高速道路には「パーキングエリア」や「サービスエリア」があるように、「道の駅」は一般道路の「たまり」として、人々に「憩」と「安らぎ」を与え、道路情報や地域の文化・歴史・名所・物産品などを紹介する情報発信の場として、また、地域と利用者の交流の場として発展してきた。

今後とも「道の駅」が利用者に愛され、さらに発展していくためには、常に安全で快適な施設管理と利用者のニーズの変化に対応した運営管理を行って、より魅力のある「道の駅」となるよう一層の努力が必要である。

このようなことから、今後の「道の駅」整備のあり方や施設管理および利用者サービスなどの運営活動の向上を図ることを目的として、全国「道の駅」連絡会に「道の駅グランプリ実行委員会」（委員長：横島庄治 高崎経済大学教授）を組織して、利用者や地域からどのように評価されているかを調査・検証のうえ審査を行い、優れた「道の駅」を表彰し、同時に21世紀における「道の駅」の果たす役割を「道の駅～道路・快適空間への展開～」と題してシンポジウムを開催することにした。

1. 「道の駅グランプリ2000」受賞駅の発表

全国「道の駅」（登録後1年以上463駅を対象）の中から基礎調査・自薦アンケート・ユーザーアンケート・現地取材調査などをもとに、利用者や地域からどのように評価されているかを調査・検証のうえ審査を行い、次の「道の駅」が受賞された。

「道の駅グランプリ2000」受賞駅

最優秀賞

「道の駅・とみうら」(千葉県・一般国道127号)

審査において高い総合評価が得られ全国「道の駅」の中から最優秀駅として選ばれた。

所在地：千葉県安房郡富浦町青木123-1

電話番号：0470-33-4611

駅長：加藤 文男

優秀賞

「道の駅・おがち」(秋田県・一般国道13号)

審査において高い総合評価が得られ全国「道の駅」の中から優秀駅として選ばれた。

所在地：秋田県雄勝郡雄勝町小野字橋本90

電話番号：0183-52-5500

駅長：菅野 健悦

優秀賞

「道の駅・明宝^{めいほう}」(岐阜県・一般国道472号)

審査において高い総合評価が得られ全国「道の駅」の中から優秀駅として選ばれた。

所在地：岐阜県郡上郡明宝村大谷1015

電話番号：0575-87-2844

駅長：小田 昌樹

特別賞

「道の駅・ゆうひパーク^{はまた}浜田」(島根県・一般国道9号)

審査において基本機能の充実に加え地域社会への配慮が高く評価された。

所在地：島根県浜田市原井町1203-1

電話番号：0855-23-8000

駅長：日野原 階士

部門賞

モビリティ部門／走行支援賞

「道の駅・おんねゆ温泉」（北海道・一般国道39号）

審査において「道の駅」の基本機能である走行支援機能が評価された。

所在地：北海道常呂郡留辺蘂町^{るべしべ}字松山1-4

電話番号：0157-45-3344

駅長：南川 健次郎

アメニティ部門／総合デザイン賞

「道の駅・名田庄」^{なたしょう}（福井県・一般国道162号）

審査において機能的で周囲の景観と調和のとれた建築デザインが高く評価された。

所在地：福井県遠敷郡名田庄村納田終109-4-1

電話番号：0770-67-2255

駅長：小城 卓治

アクティビティ部門／地域活性化賞

「道の駅・小国」^{おぐに}（熊本県・一般国道387号）

審査において地域の活性化に取り組む努力が評価された。

所在地：熊本県阿蘇郡小国町大字宮原1754-17

電話番号：0967-46-4111

駅長：宮崎 暢俊

コミュニティ部門／心ふれあい賞

「道の駅・貞光ゆうゆう館」^{きだみつ}（徳島県・一般国道192号）

審査において地域交流を促進する施設としての配慮が高く評価された。

所在地：徳島県美馬郡貞光町大須賀

電話番号：0883-62-5000

駅長：西岡 勝幸

2. シンポジウム「道の駅～道路・快適空間への展開～」

道路は「つくる」時代から「つかう」時代へ、移動空間から快適空間へと様変わりしようとしている。その「社会実験」としての「道の駅」を検証し、21世紀への提言を行う。

パネリスト	里中 満智子	漫画家
	篠原 修	東京大学教授
	山村 レイコ	エッセイスト／国際ラリーライダー
	井出 隆雄	ジャーナリスト
	大石 久和	建設省道路局長
コーディネータ	横島 庄治	高崎経済大学教授

3. 開催日時・会場

開催日時 平成12年3月2日（木） 13時開場
「道の駅グランプリ2000」発表・表彰式
13時30分～15時
シンポジウム「道の駅～道路・快適空間への展開～」
15時30分～17時

会場 東京国際フォーラム ホールB
（東京都千代田区丸の内3-5-1）
入場無料

問い合わせ先
全国「道の駅」連絡会事務局（（財）道路保全技術センター内）
鈴木 啓之・福山 茂 03-5803-7014

資 料

「道の駅グランプリ2000」審査委員会

1. 「道の駅グランプリ2000」審査委員

委員長	横島 庄治	高崎経済大学教授
委 員	井出 隆雄	ジャーナリスト
	岩越 和紀	JAFMATE編集長
	篠原 修	東京大学教授
	山村 レイコ	エッセイスト／国際ラリーライダー

2. 優良「道の駅」選考ポイント

- ・モビリティ : 走行支援機能、休憩機能、24hトイレ、パーキングスペース、チェーン脱着、看板、照明 等
- ・アメニティ : 快適性、清潔さ、環境への配慮
- ・アクティビティ : 活性化、活気、活躍、(商業的に)好況
- ・コミュニティ : 共同体、共有、交流、伝達・通信、相互理解
- ・その他

3. 第1回審査

- ・全国「道の駅」(登録後1年以上経過した463駅を対象)の基礎調査(駅長アンケート・道路管理者・観光協会アンケート・インターネットリサーチ・書籍・地図・新聞による調査・電話調査等)を行い、その集計結果により、51駅を選考した。
- ・原則として駅長アンケートの回答があった280駅を対象とした。

4. 第2回審査

- ・第1回審査で選ばれた51駅をジャーナリストの目で映像現地取材等を実施して、その結果をもとに21駅を選考した。

5. 最終審査

- ・第2回審査で選ばれた21駅を映像取材を実施して、その調査結果をもとに「道の駅グランプリ2000」ベスト3、特別賞1、部門賞4を仮選考した。
- ・仮選考された「道の駅」を委員が分担して現地調査を実施して、受賞駅を決定した。

資料

「道の駅」登録・案内制度の創設経緯と登録数の推移

- 平成2年1月 中国地域づくり交流会のシンポジウムで「道路に駅があっても良いでないか」との提案がされる。
- 平成3年10月～4年4月 山口県、岐阜県、栃木県の3地域において、仮設の休憩施設を利用して「道の駅」の実験が地元市町村において実施される。その結果、地域のコミュニティの活性化、特産物のPR等多くの効果が報告された。
- 平成4年3月 「美しく豊かな道づくり～道の駅からのアプローチ」と題したシンポジウムにおいて「道の駅」についての状況報告が行われた。
- 平成4年5月 「道の駅」懇談会を設置
- 平成5年1月 「道の駅」に関する提言が提出（建設大臣に報告）
- 平成5年4月 第11次道路整備5箇年計画の施策に位置づけ、「道の駅」登録・案内制度を創設
- 平成5年4月 全国103箇所の「道の駅」に対して、第1回登録証交付
- 平成11年8月 第15回登録証交付 合計551駅

「道の駅」登録数の推移（地区別）

	第1回 H5.4.22	第2回 H5.8.10	第3回 H5.11.24	第4回 H6.3.31	第5回 H6.4.26	第6回 H6.8.4	第7回 H7.1.30	第8回 H7.4.11	第9回 H7.8.3	第10回 H8.4.16	第11回 H8.8.5	第12回 H9.4.11	第13回 H9.10.22	第14回 H10.4.17	第15回 H11.8.27	地区 合計
北海道	14	0	0	0	2	0	1	5	3	8	6	7	0	10	8	64
東北	13	0	0	0	10	0	0	11	0	13	0	11	0	10	12	80
関東	8	1	0	1	0	1	3	7	1	9	2	9	2	19	8	71
北陸	15	0	0	0	5	1	0	1	2	0	1	7	2	4	5	43
中部	15	0	0	2	2	4	0	4	2	2	1	5	2	9	14	62
近畿	18	0	0	2	2	1	2	1	1	6	7	5	4	10	10	69
中国	6	0	10	0	0	8	0	0	6	5	8	0	9	3	2	57
四国	9	0	0	2	3	2	0	2	1	4	3	5	5	8	9	53
九州・沖縄	5	0	1	0	9	3	0	3	2	5	0	4	0	7	13	52
合計	103	1	11	7	33	20	6	34	18	52	28	53	24	80	81	551
登録数		104	115	122	155	175	181	215	233	285	313	366	390	470	551	

都道府県別「道の駅」数

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
64	19	17	7	18	13	6	6	7	11	9	7
東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
0	2	25	12	6	6	10	28	24	12	7	10
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
7	8	2	21	10	15	6	16	12	10	13	7
香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
15	15	16	5	5	2	11	9	8	9	3	